

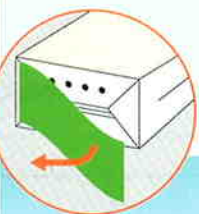
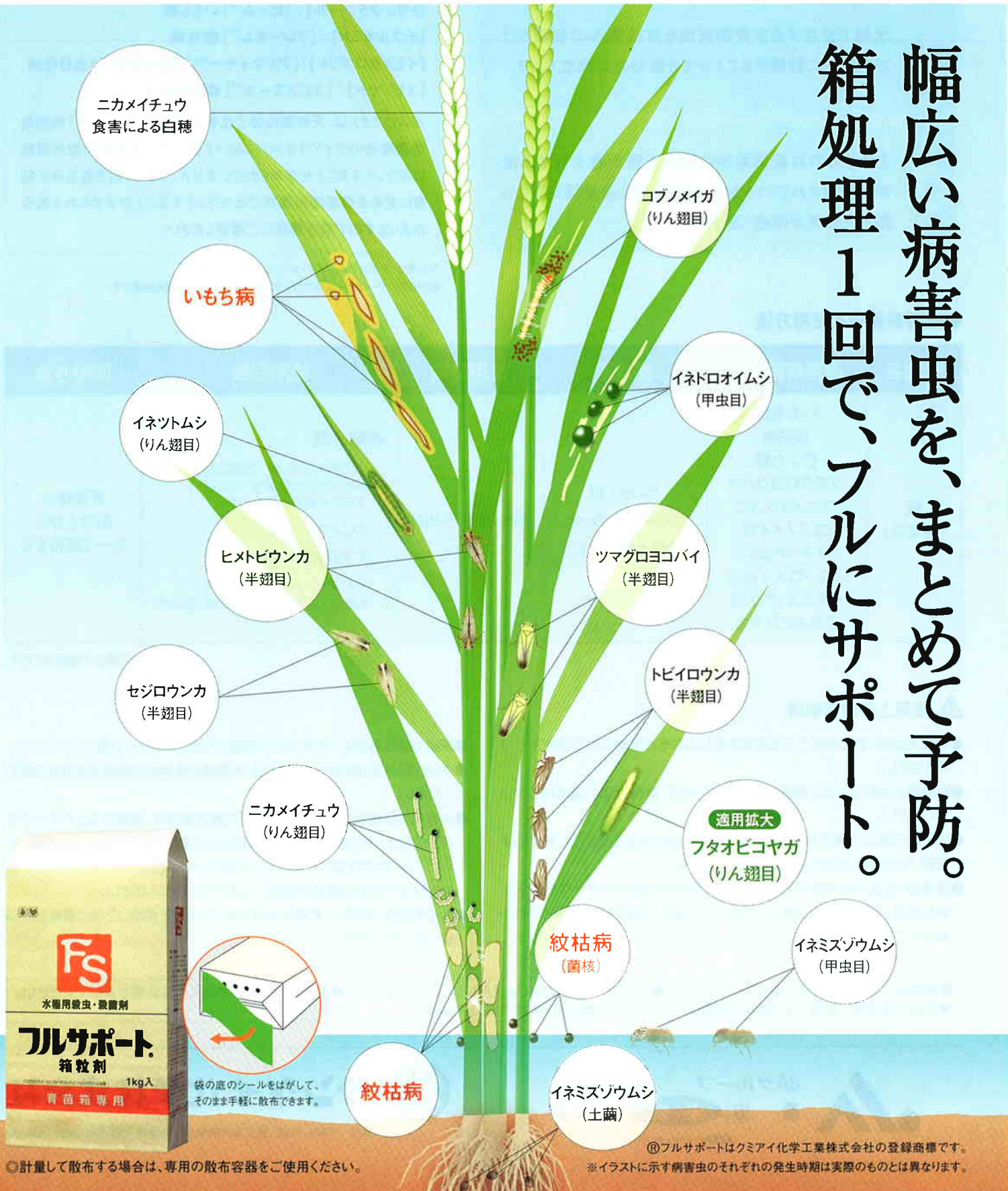


いもち病、紋枯病、稲害虫をまとめて防除

水稲用殺虫・殺菌剤

フルサポート[®] 箱粒剤

幅広い病害虫を、まとめて予防。
箱処理1回で、フルにサポート。



袋の底のシールをはがして、そのまま手軽に散布できます。

◎計量して散布する場合は、専用の散布容器をご使用ください。

®フルサポートはクミアイ化学工業株式会社の登録商標です。
※イラストに示す病害虫のそれぞれの発生時期は実際のものとは異なります。

いもち病、紋枯病、稲害虫をまとめて防除

フルサポート® 箱粒剤

登録番号: 第21410号、第21411号

有効成分: イミダクロプリド…2.0% スピノサド…0.75%
チフルザミド…3.0% トリシクラゾール…4.0%

性状: 類白色細粒

人畜毒性: 普通物

魚毒性: B類相当(製剤)

包装: 1kg×12

●特長

1 水稲で発生する主要病害虫を育苗箱への処理だけで予防的に防除することができ省力化に役立ちます。

2 それぞれの対象病害虫に優れた残効性を有する成分が配合されているため、田植え後も長期間にわたり優れた効果が持続します。

●【有効成分】：(製品名)と効果のある病害虫の種類

【トリシクラゾール】：〔ビーム™〕いもち病

【チフルザミド】：〔グレータム™〕紋枯病

【イミダクロプリド】：〔アドマイヤー®〕半翅目害虫、甲虫目害虫

【スピノサド】：〔スピノエース™〕鱗翅目害虫

※スピノサドは、天然物成分で化学合成農薬でないため「特別栽培農産物のガイドライン」においては化学合成農薬の散布回数にカウントすることが求められていません。しかし、地方自治体の独自に定める農薬使用基準ではカウントすることが求められる場合がありますので関係機関にご確認ください。

TM:ダウ・アグロサイエンス・エル・エル・シー商標

®アドマイヤーはバイエルクロップサイエンス(株)の登録商標です。

●適用病害虫と使用方法

| 作物名 | 適用病害虫名 | 使用量 | 使用時期 | 使用回数 | 使用方法 |
|------------|---|----------------------------------|----------|---|--------------------------|
| 稲 (箱育苗) | いもち病 紋枯病 ウンカ類 ツマグロヨコバイ ニカメイチュウ コブノメイガ イネツトムシ イネドロオウムシ イネミズゾウムシ フタオビコヤガ | 50g/箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) | 移植2日前～当日 | 本剤 1回 ・イミダクロプリド 3回以内 (移植時までの処理は1回以内、 本田での散布は2回以内) ・スピノサド 1回 ・チフルザミド 1回 ・トリシクラゾール 4回以内 (育苗箱へは1回以内、本田では3回以内) | 育苗箱の 苗の上から 均一に散布する |

○2010年6月現在の登録内容です。

⚠ 使用上の注意事項

- 軟弱徒長苗、老化苗などでは薬害を生じるおそれがあるので使用をさけてください。
- 稲苗葉がぬれていると薬害を生じやすいので、散布直前の灌水はしないでください。
- 時に葉の黄化や葉先枯れなどの薬害を生じることもあるので、所定の使用量、使用時期、使用方法を厳守してください。
- 移植後、低温が続く苗の活着遅延が予想される場合、あるいは移植後極端な高温(30℃以上)が続くと予測される場合は薬害を生じるおそれがあるので使用をさけてください。

- 深植では薬害を生じやすいので深植にならないように注意してください。
- 本田が砂質土壌の水田や漏水田、未熟堆肥多用田の場合は使用をさけてください。
- 処理苗を移植する水田の整地が不均整な場合は、薬害を生じやすいので代かきをはていねいに行ない、移植後田面が露出したりしないよう注意してください。移植後直ちに入水し、水深2～3cm程度に保ってください。極端な浅水や深水は薬害の原因となるのでさけてください。
- 水産動植物(魚類)に影響を及ぼすので、本剤を使用した苗は養魚田に移植しないでください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。
●空袋は圃場等に放置せず、適切に処理してください。 ●防除日誌を記帳しましょう。



JAグループ
農 協 | 全 農 | 経 済 連

全農 登録商標 第4702316号



サンケイ化学株式会社

本社 〒891-0122 鹿児島市南栄2丁目9番地 TEL.099 (268) 7588(代)